

障害者相談支援事業所ハンズ宮城野令和4年度ボランティア養成講座を開催しました。

令和5年3月15日
障害者相談支援事業所ハンズ宮城野

令和5年3月15日（水）、令和4年度ボランティア養成講座を開催し、2名が参加しました。第一部は宮城野障害者福祉センター早坂健一所長が講義「障害者に対する合理的配慮について」を行いました。「合理的配慮は本人から『こうしてほしい』という意見をきちんと聞くこと。本人の意見を聞いて対応することが大切である」ということを学びました。その後、宮城野障害者福祉センター仙石敏雄理学療法士が講義「車いすの介助について」を行いました。車いす介助を行う時に大切なこととして「細かな声かけて不安を取り除く。安全確認を行う。会話は同じ目線で。介助者本位の介助ではなく、話し合っって必要なことを手伝う」ということを学びました。

第二部はマットを設置して段差やスロープを作った部屋に移動し「車いす操作体験」を行いました。車いすに乗って介助する側、介助される側どちらも体験しました。実際車イスを操作してみると「部屋に入る時や出る時、扉の部分が狭くなっているので通り抜けるのがこわい」「スロープを下向きに降りるのはこわい」等の意見が出ました。これらのことから車いすに乗っている人のことを考えた介助が大切であることを体感することができました。

アンケートの結果では「車いすがよかった」「大学生とボランティア研修会をしたい」という意見をいただきました。今後も皆様にとって、役立つような情報提供が出来る講座を企画していきたいと思います。

【講座風景】

